

地元の山田庸平に人気集中

ミッドナイト競輪G3 in 武雄「日本名輪会カップ・オッズパーク杯」は、5月20日～22日の日程で開催される。今シリーズは九州勢が圧倒的な戦力を誇っている。地元山田庸平、山口敦也をはじめとして北津留翼、井上昌己、阿部将大、渡邊豪大と実力者ぞろい。だが、2月小松島で開催されたミッドナイト競輪G3第2弾で優勝している鈴木竜士もいるので、波乱の余地もありそうだ。また、ガールズケイリンもあわせて行われる。ガールズケイリン2024クイーン・石井寛子が参戦するのでこちらも目が離せない。

昨年7月佐世保、今年2月小松島に続くミッド



山田庸平

ドナイト競輪G3第3弾。ラインの総合力は九州勢が大きくリードしている。勝ち上がり戦から有利に戦えそうなのに、決勝に数多く勝ち上がり、強力なラインを形成できる公算が大きい。ファンの支持を集めるのは、ビッグレースで存在感を示しているトップレーサーの地元の山田庸平だ。ウィナーズカップは優参加らずも①①⑦①着と3勝をあげていて、最終日は豪快にまくって上がり8秒



開設75周年記念だけお競輪 大楠賞争奪戦GIII 令和7年4/10(土)～13(日)

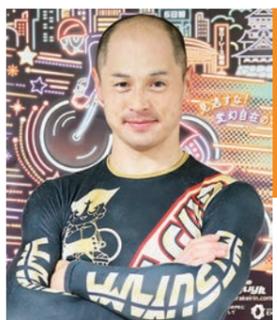
ミッドナイトGIII 日本名輪会カップ オッズパーク杯 令和7年5/20(土)～22(日)

9のバンクレコードを叩き出している。ダービーでも①④④①着と2勝をものにした。もちろん当所では素晴らしい実績を残している。4月の記念開催で4連勝を達成したばかりだ。自力勝負でも十分に優勝は狙えるが、阿部将大、北津留翼らとの連係が叶うようなら、展開の利を得られる可能性もある。山田にとっては負けられないシリーズ。不惑を迎えた北津留は、さすがに勝ちまくっていた頃の脚勢ではなくなったものの、ダービーでは3回の確定板入りを果たしている。2走目は上がり10秒8の超速まくりを決めて勝つていて、スピードはまだまだ健在だ。昨年はG3での3Vを含め8Vと大ブレイクした阿部将大だが、今年はまだ優勝に手が届いていない。ウィナーズカップ、ダービーでは、いずれも確定板入りなしに終わっている。そろそろ立ち直りのきっかけをつかみたい。井上昌己はベテランならではの堅実な走りを披露している。ダービーの一次予選は、青柳靖のカマシに

鈴木竜士



北津留翼



乗って2着に入った。好位置を占められれば連に浮上してくる。また、今回は特進でS級に復帰した立部楓真をはじめとする地元の若手の活躍も見ものだ。

強大な九州勢を撃破すれば鈴木竜士、橋本壮史らの関東勢だろう。鈴木は2月小松島①①①着、ミッドナイト競輪G3でVをゲットした実績がある。先制した地元勢の後ろをキープすると、新田祐の反撃に合せて踏み込んだ。その後動きは軽快。3月大垣G3では3連勝で決勝に進出、ダービーの一次予選は、前々と車を進めて直線で差し脚を伸ばす、持ち味を發揮した競走で白星スタートを決めている。橋本とは大垣G3の決勝で連係している。前で戦った橋本が内に詰まってしまう、共に倒れに終わった。橋本はまったく力を出せなかっただけに、ここは先行力を存分に發揮したい。

選手名	登録地	期別	競走得点
井上昌己	長崎	86期	108.59
山口敦也	神奈川	89期	107.63
山田庸平	福岡	90期	107.55
北津留翼	青森	94期	102.38
瀬原光翔	佐賀	94期	116.75
鈴木竜士	福島	99期	106.56
小松島大地	東京	107期	113.00
	神奈川	107期	101.29
	和歌山	107期	101.90
	和歌山	111期	100.70
	佐賀	113期	106.11
	熊本	113期	103.36
	岡山	115期	104.61
	大分	117期	105.52
	茨城	119期	105.95
	愛知	121期	108.87
	愛知	71期	98.00
	静岡	80期	98.00
	群馬	81期	93.21
	静岡	82期	94.16
	大分	83期	98.32
	福岡	88期	98.64
	秋田	89期	93.41
	三重	89期	102.46
	愛知	91期	96.27
	福岡	91期	96.05
	徳島	93期	99.79
	愛媛	93期	0.00
	和歌山	97期	96.60
	広島	98期	100.31
	熊本	98期	98.33
	岡山	101期	97.97
	広島	103期	91.69
	静岡	105期	101.50
	三重	105期	98.28

出場予定選手詳細

日本名輪会C オッズパーク杯 出場予定選手

級別	氏名	登録地	期別	競走得点	級別	氏名	登録地	期別	競走得点
S1	井上昌己	長崎	86期	108.59	S2	大矢崇弘	東京	107期	106.14
S1	石塚孝幸	神奈川	89期	107.63	S2	渡邊豪大	福岡	107期	105.65
S1	北津留翼	福岡	90期	107.55	S2	瀬戸晋作	長崎	107期	103.27
S1	坂本貴史	青森	94期	102.38	S2	吉田智哉	愛媛	111期	101.39
S1	山田庸平	佐賀	94期	116.75	S2	磯島成介	青森	115期	102.32
S1	小松島大地	福島	99期	106.56	S2	立部楓真	佐賀	115期	93.43
S1	鈴木竜士	東京	107期	113.00	S2	佐々木和紀	神奈川	117期	97.71
S1	菅原大也	神奈川	107期	101.29	S2	小松原正登	福岡	117期	100.65
S1	中西大	和歌山	107期	101.90	S2	木村皆斗	茨城	119期	104.19
S1	南潤	和歌山	111期	100.70	S2	五十嵐綾	福島	121期	98.71
S1	山口敦也	佐賀	113期	106.11	S2	坂田康季	佐賀	121期	100.24
S1	上野優太	熊本	113期	103.36	S2	篠田幸希	群馬	123期	108.00
S1	晝田宗一郎	岡山	115期	104.61	S2	青木瑞樹	岡山	123期	100.04
S1	阿部将大	大分	117期	105.52	S2	橋本宇宙	佐賀	123期	97.86
S1	橋本壮史	茨城	119期	105.95					
S1	瀬原光翔	愛知	121期	108.87	ガールズケイリン				
S2	伊藤正樹	愛知	71期	98.00	L1	石井寛子	東京	104期	55.71
S2	萩原孝之	静岡	80期	98.00	L1	青木美優	栃木	106期	46.50
S2	稲村好将	群馬	81期	93.21	L1	長澤彩	福岡	106期	51.78
S2	大塚英伸	静岡	82期	94.16	L1	元砂七夕美	奈良	108期	52.94
S2	大野悟郎	大分	83期	98.32	L1	三宅玲奈	岡山	108期	47.67
S2	鷲田佳史	福岡	88期	98.64	L1	藤巻絵里佳	福島	110期	46.81
S2	佐藤朋也	秋田	89期	93.41	L1	田中千尋	愛知	114期	48.56
S2	上田国広	三重	89期	102.46	L1	那須萌美	宮崎	114期	56.04
S2	篠原忍	愛知	91期	96.27	L1	清水彩那	静岡	116期	49.53
S2	伊原克彦	福岡	91期	96.05	L1	南門佳	熊本	116期	50.27
S2	北村信明	徳島	93期	99.79	L1	田中月菜	佐賀	118期	50.06
S2	栗田貴徳	愛媛	93期	0.00	L1	飯田風音	埼玉	120期	54.85
S2	稲毛健太	和歌山	97期	96.60	L1	又多風緑	石川	122期	51.61
S2	増原正人	広島	98期	100.31	L1	豊田美香	徳島	126期	51.86
S2	東矢昇太	熊本	98期	98.33					
S2	山崎泰己	岡山	101期	97.97					
S2	和田誠寿	広島	103期	91.69					
S2	渡邊雄太	静岡	105期	101.50					
S2	神田龍	三重	105期	98.28					

※2025年05月12日現在

木村 皆斗 (茨城/119期)

機動力に一段と磨きがかかり、3月別府、4月松阪はいずれも予選、準決で連に絡み、5月岸和田では3連勝でS級初Vを達成。松阪の準決では村上博らを撃破と、上位戦でも機動力を発揮できれば一発ある。



PICK UP RACE



晝田 宗一郎 (岡山/115期)

ダービーの一次予選では、4番手の外並走から小松崎大の逃げをまくって勝ち星をゲット。G1大会で初勝利を手にしている。同格戦は主力として信頼できるし、格上相手でも軽視は禁物だ。



篠田 幸希 (群馬/123期)

なかなか準決を乗り切れずにいたが、3月前橋G3では2④①⑤着と優参を果たした。一次予選、二次予選は逃げてぎりぎり粘ると、準決は3番手を確保してのまくりでヒットを飛ばした。大駆けの魅力を秘めている。



ガールズケイリン

主役は譲らない石井寛子

出場予定選手詳細

※2025年05月12日現在

選手名	所属	114期	118期	106期	108期	122期	104期	120期	選手能力値	戦法別勝利数	12場所勝利数
那須 萌美	茨城	56.04	50.05	51.78	52.94	51.61	55.71	54.85	43 63	0 5 18 6	18 11 3 2
田中 月菜	茨城	55.44	49.16	51.43	52.51	50.21	55.70	55.05	34 46	1 3 2 1	3 4 3 2 6
長澤 彩	茨城	56.09	49.38	51.94	52.00	51.75	55.85	54.76	36 49	0 2 1 6	3 6 10 16
元砂 七夕美	茨城								34 51	0 0 3 9	0 13 9 12
又多 風緑	茨城								37 49	2 1 0 6	0 9 14 14
石井 寛子	茨城								52 78	1 9 15 1	22 4 3 5
飯田 風音	茨城								48 72	3 11 5 1	12 8 9 7

今シリーズの競走得点最上位者は那須萌美になる。通算13Vの半数以上の7Vを昨年と今年の間で稼ぎ出しているように、那須は年々進化が止まらない。差し脚の切れを増しただけでなく、自力でも勝負にいける脚が付いて組み立ての幅も広がったし、位置取りの精度も増した。オールガールズも一次予選4着で敗退力強く抜け出そう。

ガールズケイリンは石井寛子が主役となって盛り上げる。グランプリを制して最優秀選手賞も獲得。新年に入りイベント等でより多忙な日々を過ごした石井はオールガールズを④⑦①着と最終日の1勝のみに止まった。ビッグレースの準決の壁を改めて実感し、6月のパールカップに向けて気合を入れ直す。5月は今までの分を取り返す練習優先の期間となりそうだが、もちろん、その間の実戦で納得のいかない走りは見せられない。石井らしいダッシュを生かした自力自在戦でスキなく立ち回り、最後は力強く抜け出そう。



石井 寛子



那須 萌美

ながら、残りの2日間は①②着にまとめて力のあるところは示した。石井ともゴール前勝負を演じるのは必至だろう。石井、那須をまとめて倒せる爆発力を持つのが飯田風音。Vラッシュだった昨年の同時期に比べるとトーンダウンの感は否めないものの、さすがに手堅く着をまとめているし、オールガールズも中日にまくって1勝している。ダッシュでは石井にも負けていない。勝負所で思い切って飛び出せるかだ。又多風緑は組み立てに課題を残すが、かみ合えばV戦線に食い込んでくる。12月川崎で日野未らにまくりで圧勝したレースで手応えをつかみ、今年は好スタートを切っただけに、再び起爆剤となる一発を決めたい。かつてのトップレーサーらしく安定したレース運びが光る長澤彩、位置取りでは誰にも負けない元砂七夕美も有力な連候補。最近では地元で苦戦が続いている雪辱を果たしたい田中月菜や、長欠明けも戦える状態は整えている南円佳も上位争いに食い込む。

ながら、残りの2日間は①②着にまとめて力のあるところは示した。石井ともゴール前勝負を演じるのは必至だろう。石井、那須をまとめて倒せる爆発力を持つのが飯田風音。Vラッシュだった昨年の同時期に比べるとトーンダウンの感は否めないものの、さすがに手堅く着をまとめているし、オールガールズも中日にまくって1勝している。ダッシュでは石井にも負けていない。勝負所で思い切って飛び出せるかだ。又多風緑は組み立てに課題を残すが、かみ合えばV戦線に食い込んでくる。12月川崎で日野未らにまくりで圧勝したレースで手応えをつかみ、今年は好スタートを切っただけに、再び起爆剤となる一発を決めたい。かつてのトップレーサーらしく安定したレース運びが光る長澤彩、位置取りでは誰にも負けない元砂七夕美も有力な連候補。最近では地元で苦戦が続いている雪辱を果たしたい田中月菜や、長欠明けも戦える状態は整えている南円佳も上位争いに食い込む。